



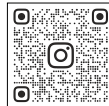
vol.111

す み だ ゆ う

住田 由布 さん

プロフィール

35歳。安浦地区在住。2児の母。広島医療保健専門学校を卒業。理学療法士としてリハビリ特化型デイサービスで勤務。「コミュニティサロン繋ぐ」を運営。呉の好きな場所は県民の浜・七浦海水浴場。



▶「コミュニティサロン繋ぐ」のInstagram



呉で輝く若者たち

「まちの皆で心も体も地域も元気にしていきたい」
そう話すのは、デイサービスで理学療法士として勤務する傍ら、団体『コミュニティサロン繋ぐ』を運営し、講座やマルシェなどのイベントを開催している住田由布さんです。

住田さんが理学療法士を目指すそうと思ったきっかけは高校生のとき。部活動のバレーボール中にけがをし、通った病院の理学療法士から体のケアを教わったそう。「歩く時の足の動かし方や体重のかけ方を変えるように勧められて、言われたように変えただけですごく痛みが楽になりました。自分も誰かがけがや病気になった時、サポートする仕事に就きたいなと思ったんです」と当時を振り返ります。

理学療法士として介護老人保健施設や回復期病院で経験を積み、現在はリハビリ特化型デイサービスだけがや病気、脳梗塞などの後遺症のある人の身体機能や生活動作改善のサポートを行っています。「利用者さんが前よりも楽に動けるようになって、会話や笑顔が増えて心も元気になっていく様子がわかるのがとても嬉しいし、やりがいに感じます」と話します。

「これからも繋がるの場を大切にして、助け合える地域づくりができればいいなと思っています」そう語る住田さん。今後地域とともに、この地で輝き続けます。

また住田さんは自身の子育てで悩んだ経験から、子育て中のママ達が楽しく、心が楽になれるような空間を作りたいと思い、3年前に『コミュニティサロン繋ぐ』を立ち上げました。現在は子育てや介護福祉のイベントを不定期に開催しています。「イベントを通して出会った人と話したり、情報交換をしたりと、人と人が繋がっていくのが嬉しいです」と話します。

住田さんは理学療法士としての経験と、新たに学んだ栄養学や予防医学の知識を、地域の高齢者サロンや自治会で伝えています。先月は「こころのケア」をテーマに、子育て世代から高齢者に向けて行いました。「たくさんの方の人のリハビリをする中で、辛い思いをする前に、けがや病気を防ぐことを地域の人に一人でも多く伝えたいと思うようになりました。講演会を通して、生活を工夫するきっかけになってくれたら」と微笑みます。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています

■再生紙を使用しています
■QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

10言語対応「市政だより くれ」デジタルブックで配信中！



- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 文字サイズを調整できる
- 動画や写真も楽しめる
- 10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応※）



【対応言語】

日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）
韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）
スペイン語、インドネシア語、ベトナム語
※ベトナム語は音声読み上げに対応していません。

無料 FREE APP



・ブラウザ版は音声読み上げには対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタボケバ）のインストールが必要です。